



◎限られた予算を有効に

【長崎市】平成 29 年度の予算を家計に例えると

単位：万円

収 入		支 出	
給料	127	食費	66
パート収入	36	医療費	193
貯金取り崩し	11	借入金返済	69
親からの仕送り	264	家の増改築費など	48
借入金	62	光熱水費	48
※貯金残高 99 ※借入金残高 596		家具などの修繕費	4
		子どもへの仕送り	31
		貯金	1
		その他	40
年収	500	年収	500

新年度のスタートです。この一年も躍進をと気持ち新たにされていることと存じます。

私も任期折り返しの年を迎え、さらに有言実行、飛躍の年にせねばと強く思っています。変わらぬ叱咤激励賜りますようお願いいたします。通信も引き続きご査収くださいませ。

さて、新年度予算も議会承認がなされ今日から執行されるわけですが、広報ながさき 4 月号の 29 年度予算の説明のなかで「長崎市の予算を家計に置き換えると」の表が掲載されています。

※改選前 2013 年度決算と比較すると収入構成はほぼ変わりませんが、支出の生活費が 290 万→328 万円（38 万増）、家の改築費など投資額が 59 万→48 万（11 万減）と一段と苦しく

【長崎県】平成 29 年度の予算を家計に例えると

単位：万円

収 入		支 出	
実家から	353	食費などの生活費	240
自己収入	219	日用品など	27
預金引き出し	45	仕送り	156
借金	107	自宅の新築など	160
/		知人に貸付	31
		貯蓄	4
		借金返済	103
		その他	3
年収	724	年収	724

わかりやすい例えですので全く同じではありませんが、県の新年度予算を家計に置き換えてみました。

（市は全体の予算 2097 億を収入 500 万の家計に置き換えています。県は全体で 7247 億ですので当初の予算規模を 10 万分の 1 の年収 724 万としてみました）

ご覧の通り、自己収入が少なく財政力が弱いため国への依存に頼らざるを得ない状況のなか、わが地元長崎市は政令市・県庁所在地で人口減少率ワースト 2 位、約 20 年後 2040 年の人口予測は 33 万（28 年末対比 23.6%減）、同 20～30 代女性の人口は 48%減で「消滅可能性都市」の一步手前。

ちなみに長崎市民一人当たりの借金は 146 万（県 88 万、市 58 万）に対して貯金は約 10 万（県 650 円※、市 10 万）しかありません。※H28 年 2 月の数字。H29 年末見込みでは 2 万。

将来の子ども達のために、そしてまちの未来を切り拓くためには私たちは大げさではなく「砂を噛むような思いのなかで」相当な覚悟をもって臨んでいかねばなりません。だからこそ限られた予算をより有効に使わねば。新年度もしっかり臨みます。